

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	水道水質管理向上に関する検討調査費			担当部局庁	生活衛生・食品安全部	作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	水道課	水道課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	水道法第4条、第20条、第34条の2			関係する計画、通知等	「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道水供給の末端に位置する貯水槽水道について、その指導を管轄する地方公共団体における管理の向上方策を検討するとともに、水道事業者が水源から蛇口について統合的に管理するために必要となる水安全計画についてその継続的運用を推進するための方策を検討し、もって水道水の安全を確保する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	水道担当行政部局における貯水槽水道に関する条例等制度、管理状態の把握、不適切施設に対する指導及び水道事業者等との連携状況を調査し、地方公共団体におけるより効率的な貯水槽水道の管理方策を全国へ展開する。また、水道事業者における水安全計画の運用及び見直し状況を把握し、継続的な計画の運用に当たっての課題を整理する。運用中の水安全計画をもとに水源から蛇口に至る過程のカテゴリー分類ごとにリスク因子を分析することで運用における重要な管理ポイントを抽出し、水安全計画策定ガイドライン(平成20年5月)を改訂し、全国への普及を図る。						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	4	
		補正予算	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-		
		予備費等	-	-	-		
		計	0	0	0	4	0
	執行額	0	0	0			
	執行率(%)	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-				
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	食品等試験検査費	4					
	計	4	0				

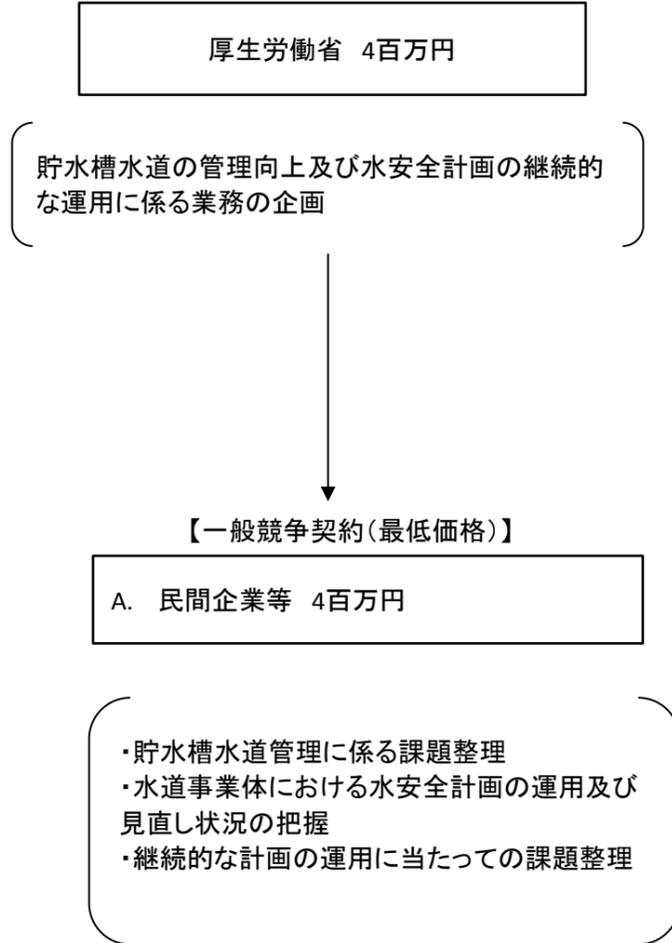
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度	
	水安全計画策定率50%を目指し、水道水質管理水準の向上を図る		水安全計画策定率	成果実績	%	-	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	50	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課調べ										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	上水道事業及び水道用水供給事業の水安全計画策定率			活動実績	%	-	-	-	-		
				当初見込み	%	-	-	-	50		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「水道水質管理の向上に関する調査検討費」 Y:「水安全計画の策定状況調査件数」			単位当たりコスト	円/件数	-	-	-	2,978		
				計算式	X/Y	-	-	-	4百万円/1,343件		
政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラム との関係	政策評価	政策	II-2 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること								
		施策	II-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること								
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 毎 年度	
	水質基準適合率	実績値	%	集計中	集計中	集計中	-	-			
		目標値	%	100	100	100	-	100			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	水安全計画の適切な運用が行われることで水源から蛇口までの安全性を高めるとともに末端の貯水槽水道に係る水質管理を追加することで、水道としての全体的な水質管理レベルの向上を図ることから、水質基準適合率の向上に寄与すると見込んでいる。										
	改革項目	分野:	社会資本整備等	② 地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 16 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度	
		水質基準適合率		成果実績	%	99.9	集計中	集計中	-	-	
目標値				%	100	100	100	-	100		
達成度				%	99.9	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	-		成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
本事業は貯水槽水道の管理向上及び水安全計画の運用支援を行うものであり、本事業の推進は水質基準適合率の維持に資するものである。											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	水道水質管理水準の向上は広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	水道水質管理水準の向上は、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質管理水準の向上は優先度が高い。			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・ 改善 結果	点検結果	-				
	改善の 方向性	-				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	新29-0032					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-		-		-	--	